

無人島とアホウドリが描かれた切手

No.74 「琉球切手:海洋シリーズ第3集(海鳥と海と島)」
(切手シートと初日カバー)

報H29/P31

1972年(昭和47年)4月14日

資料概要

沖縄返還前の1972年(昭和47年)4月14日に琉球政府が発行した切手(※1)。

初日カバーに同封されている説明には、「沖縄で海鳥群の見られるところとして、八重山石垣市に属する無人島などが上げられるが」との記載があるが、石垣市に属する無人島で、アホウドリが生息する島であること、及び絵の構図から考えるに、切手のデザインとなった島は尖閣諸島の南小島、北小島であると考えられる。前述の通り、正式には『海鳥と海と島』という名称の切手ではあるが、俗に『アホウドリと尖閣の海と南小島』と呼ばれることもある。

※1 沖縄の施政権が日本に返還されたのは、1972年(昭和47年)5月15日。

作成年月日	1972年(昭和47年)4月14日
編著者	安次富長昭(図案)
発行者	琉球政府
収録誌	-
言語	日本語・英語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	沖縄県立博物館・美術館 (デザイン原板)
利用方法	沖縄県立博物館・美術館で 利用手続きを行う

海洋シリーズ第3集(海鳥と海と島)

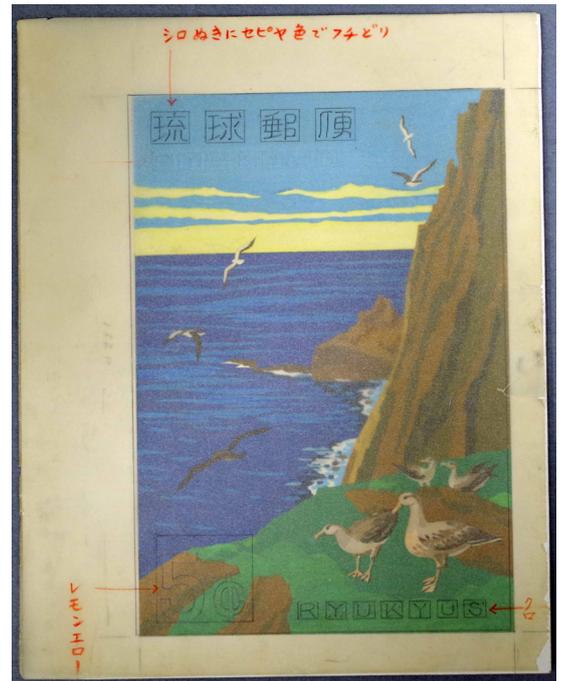


大蔵省印刷局製造



デザイン原板

所蔵: 沖縄県立博物館・美術館



所蔵: 沖縄県立博物館・美術館

内容見本

海洋シリーズ第3集(海鳥と海と島)

琉球政府では、1972年4月14日に“海鳥と海と島”を意匠とする海洋シリーズ第3集郵便切手を発行する。

沖縄で棲息する海鳥としてアホウドリ・カツオドリ・アジサシ・オオミズナギドリなどがよく知られている。それらの海鳥も古くは沖縄の各地の海岸に棲息していたことが、文献や言い伝えによって明らかであるが、それも人文の発達により、次第に主要島から遠ざかり、現在はへんびな無人島でしか、その群棲を見ることができない。沖縄で海鳥群の見られるところとして、八重山石垣市に属する無人島などが上げられるが、そこにおいても卵や羽毛、鳥糞の乱獲によりほとんどその姿を見せなくなった海鳥もあり、無人島と言えども安住の地ではないと言えよう。

(図案)

発行日：1972年4月14日

額 面：5セント

意 匠：海鳥と海と島

刷 色：多色

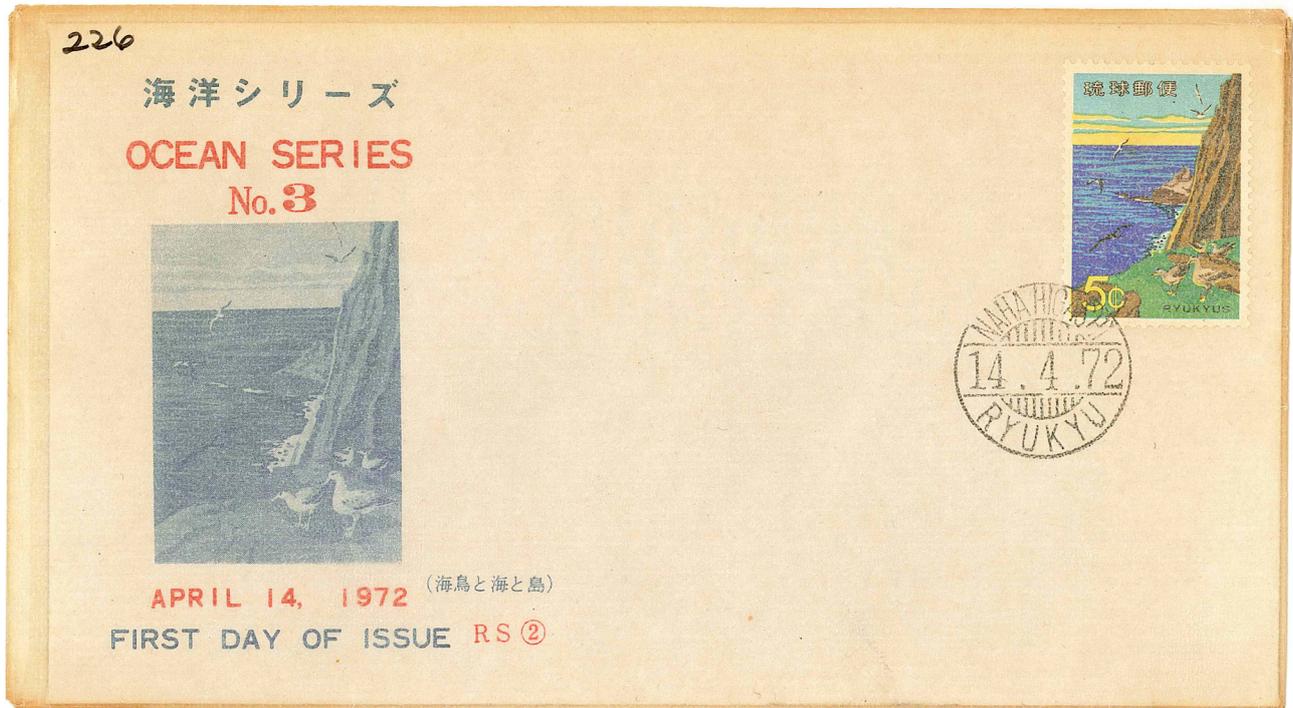
版 式：グラビア

印面寸法：たて33×よこ22.5(ミリ)

シート構成：たて5×よこ4の20枚

図案者：安次富長昭

発行枚数：250万枚



OCEAN SERIES NO. 3
(SEA BIRD, SEA AND ISLAND)

The Government of the Ryukyu Islands will issue a 5¢ special postage stamp on 14 April 1972, depicting a Sea Bird, Sea and an Island as the third of the Ocean Series.

The Albatross, Boody Gannet, Scray, etc., are well known as sea birds living in the Okinawa area. Ancient literature and legends disclose that these sea birds inhabited the coastal areas of Okinawa in olden days. However, as the islands became populated the birds gradually disappeared from the main islands. Today we can see some of those birds living in flocks in remote, uninhabited islands. Although flocks of some sea birds are still found in uninhabited islands within the Ishigaki area other species have disappeared altogether because of man's harvesting of eggs, feathers and guano. We may say that even the uninhabited islands have ceased to be a safe haven for these sea birds.

Date of Issue : 14 April 1972
 Denomination : 5 ¢
 Design : Sea Birds, Sea and Island
 Color : Multi-color
 Type of Printing : Photogravure
 Size : 22.5mm × 33mm
 One Sheet : 20 stamps (4 × 5)
 Designed by : Mr. Chosho Ashitomi
 Quantity of Issue : 2,500,000

海洋シリーズ第3集(海鳥と海と島)

琉球政府では、1972年4月14日に“海鳥と海と島”を意匠とする海洋シリーズ第3集郵便切手を発行する。

沖縄で棲息する海鳥としてアホウドリ・カツオドリ・アジサシ・オオミズナギドリなどがよく知られている。それらの海鳥も古くは沖縄の各地の海岸に棲息していたことが、文献や言い伝えによって明らかであるが、それも人文の発達により、次第に主要島から遠ざかり、現在はへんぴな無人島でしか、その群棲を見ることができない。沖縄で海鳥群の見られるところとして、八重山石垣市に属する無人島などが上げられるが、そこにおいても卵や羽毛、鳥糞の乱獲によりほとんどその姿を見せなくなった海鳥もあり、無人島と言えども安住の地ではないと言えよう。



発行日 : 1972年4月14日
 額面 : 5セント
 意匠 : 海鳥と海と島
 刷色 : 多色
 版式 : グラビア
 印面寸法 : たて33×よこ22.5(ミリ)
 シート構成 : たて5×よこ4の20枚
 図案者 : 安次富長昭
 発行枚数 : 250万枚